

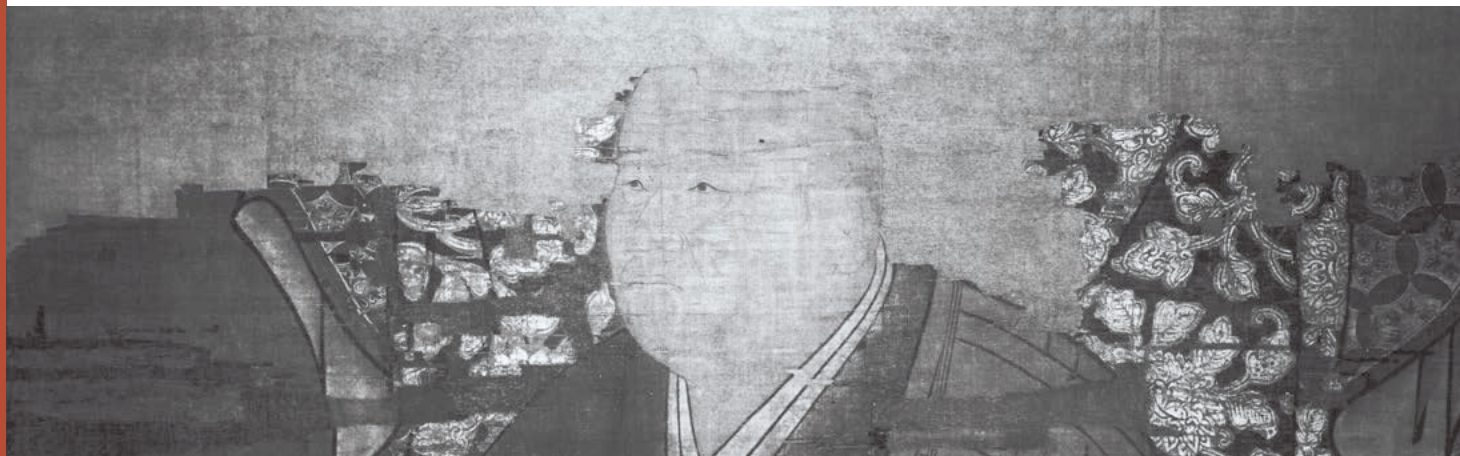
特別展

湛睿^{たんえい}

— 国宝を繋いだ称名寺長老 —



開館時間 9時～16時30分（入館は16時まで）
休館日 毎週月曜日（11月23日、1月11日は開館）、11月24日（火）、
年末年始（12月28日～1月4日）、1月12日（火）
主催 神奈川県立金沢文庫
協力 横浜市金沢区役所
交通 京急線金沢文庫駅下車 東口より徒歩12分（快特で品川より33分、横浜より16分）
シーサイドライン海の公園南口駅下車 徒歩10分（JR根岸線 新杉田駅接続）
観覧料 一般400円（300円）、20歳未満・学生250円（200円）、65歳以上200円（100円）、
高校生100円、中学生以下・障がい者の方は無料 ※（ ）内は20名以上の団体料金



▲ 神奈川県立金沢文庫 Kanagawa Prefectural Kanazawa-Bunko Museum

〒236-0015 横浜市金沢区金沢町142 TEL 045-701-9069 FAX 045-788-1060

<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/kanazawabunko/>

県立金沢文庫HP



（上）重文 称名寺絵図 鎌倉時代

（下）伝湛睿和尚像（部分、赤外線撮影） 南北朝時代

ともに称名寺所蔵・神奈川県立金沢文庫保管

二〇二六年十一月二十日（金）～二〇二七年一月十七日（日）

特別展 湛睿 — 国宝を繋いだ称名寺長老 —

会期 令和8年(2026)11月20日(金)～令和9年(2027)1月17日(日)



国宝 華嚴経内章門等雜目錄 文保2年(1318)
書状を再利用して作った書皮(ブックカバー)
付きの湛睿手沢本



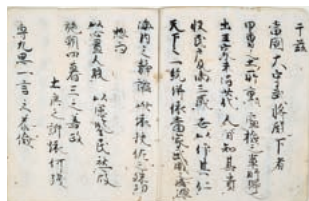
国宝 一乗仏性権実論 鎌倉～南北朝時代
新出断簡初公開!



国宝 湛睿書状 南北朝時代
「金沢文庫」の建物が老朽化していることを
伝える書状



国宝 足利直義安堵状 暦応2年(1339)
足利直義から湛睿に対して発給された称名
寺住持職の安堵状



国宝 千載八講初日表白
南北朝時代



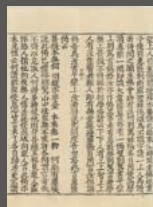
国宝 華嚴演義抄纂釈拾遺 巻六
下 建武2年(1335)
「中先代の乱」に言及する湛睿自
筆本の奥書



県文 三千仏図(甲本) 貞和6年(1350)
称名寺に隣接していた尼寺・海岸寺ゆかりの仏画

◇主要展示資料

重文 称名寺給図并結界記、伝湛睿和尚像、国宝 諸行本願義、国宝 華嚴七科章、国宝 教
誡儀抄、国宝 随自意抄〈以心伝心〉、国宝 因幡国千土師郷上村年貢結解状、国宝 華嚴
十玄章、国宝 答皇太子所問心要牒ほか(全て称名寺所蔵・神奈川県立金沢文庫保管)
※文化財保護のため会期中一部展示替えがございます。詳細はHPでご確認ください。



〈次回予告〉

特別展 禅籍の精華 — 両足院の学問 —

令和9年(2027)1月22日(金)～3月22日(月・祝)

(写真:六祖壇経 両足院蔵・慶應義塾大学附属研究所斯道文庫寄託)

昭和5年(1930)に神奈川県立金沢文庫が開館して
まもなく、称名寺から大量の中世写本が発見される
と、未知の文献に大きな期待を寄せた仏教学者が次々
に県立金沢文庫を訪れました。そこで彼らは、多くの
写本に残された「湛睿」の名を目にします。それまで
ほとんど知られていなかった湛睿という僧侶の研究
は、ここから始まりました。

湛睿は関東を拠点としながら東大寺や久米田寺など
でも学んだ僧侶で、多くの著作を残しています。鎌倉
幕府滅亡後の動乱期には称名寺三世長老となり、称名
寺の存続に尽力しました。本展では、称名寺聖教の発
見と研究の歴史をたどりながら、世に埋もれた学僧で
あった湛睿の生涯と思想を紹介します。

◇講座・講演会(要事前申込)

特別講演会

①鎌倉時代戒律復興運動の諸相

日時: 令和8年(2026)12月6日(日) 13:30～15:30

講師: 大谷由香氏(広島大学准教授)

連続講演会(全5回)

「^{しょうぎょう}聖教」を読む—東アジア仏教文献のたのしみかた—

②第1回 東国の片隅からみつめた中世仏教:

湛睿『随自意抄』を読み解く

日時: 令和8年(2026)11月28日(土) 13:30～15:30

講師: 櫻井唯(神奈川県立金沢文庫学芸員)

③第2回 称名寺本『正法眼蔵』で読む禅問答入門

日時: 令和8年(2026)11月29日(日) 13:30～15:30

講師: 小川隆氏(駒澤大学教授/禅文化歴史博物館長)

④第3回 『大日経』・『大日経義釈』の基本思想を探る

日時: 令和8年(2026)12月12日(土) 13:30～15:30

講師: 大久保良峻氏(国際仏教学大学院大学教授/
早稲田大学名誉教授)

⑤第4回 見えない仏とのコンタクト:

確かに受戒できた具体的証拠

日時: 令和8年(2026)12月20日(日) 13:30～15:30

講師: 船山徹氏(京都大学人文科学研究所教授)

⑥第5回 「聖」の発見:『華嚴経』を中心として

日時: 令和9年(2027)1月11日(月・祝)13:30～15:30

講師: 木村清孝氏(東京大学名誉教授/曹洞宗龍宝
寺東堂)

月例講座

⑦長老湛睿の寺院経営戦略

日時: 令和8年(2026)12月26日(土) 13:30～15:00

講師: 三輪真嗣(神奈川県立金沢文庫学芸員)

⑧中世の受戒儀礼と夢

日時: 令和9年(2027)1月17日(日) 13:30～15:00

講師: 櫻井唯(神奈川県立金沢文庫学芸員)

申込方法 県立金沢文庫HP「申込フォーム」、または

往復はがき(おひとり様1講座1通まで、
ただし連続講演会を5回セットで申し込む
場合は1通で可)に、講座名(開催日)、住
所、氏名、電話番号、①～⑥についてはキャン
セル待ち希望の有無を明記の上、①11月
19日(木)、②～⑥11月5日(木)、⑦12月10
日(木)、⑧12月24日(木)までにお申し込み
ください。

参加費 ①⑦⑧は無料(ただし当日の観覧券が必
要)。連続講演会②～⑥は各回1,000円、5回
セット5,000円(全5回ご出席の方には最終
日に当館の招待券2枚を贈呈)。

会場 神奈川県立金沢文庫 地下大会議室

定員 各70名(応募多数の場合は抽選)

◇ボランティアによる展示解説(予約不要)

土曜・日曜・祝日の14:00および15:00から

神奈川県立金沢文庫

〒236-0015 横浜市金沢区金沢町142

TEL 045-701-9069 FAX 045-788-1060

<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/kanazawabunko/>

湛睿